

学びをもっとスマートに!

令和
9年度

標準学力調査

| コンピューターテスト |



CBT調査による迅速な集計!

標準学力調査 CBT

&

| ペーパーテスト |



書く力を正しく評価!

標準学力調査



学力調査を行う意義は、結果を次の指導と学びに「活かす」ことにあります。客観的なデータで児童生徒の「今」を把握し、集団の課題やつまずきの原因を可視化することで、日々の授業改善や個別最適なサポートが可能になります。「調査→結果閲覧・分析→学習・指導」が東京書籍の学力調査により一つにつながるサイクルとなり、子どもたちの得意を伸ばし、苦手を自信に変える。この確かな歩みこそが、未来を切り拓く学力を育む鍵となると信じています。

顧問

荒井 克弘 東北大学 名誉教授
大学入試センター 名誉教授

調査分析設計協力

荘島 宏二郎 大学入試センター 教授

調査編集協力

国語 / 樺山 敏郎 大妻女子大学 教授

社会 / 中田 正弘 白百合女子大学 教授

算数 / 清水 宏幸 山梨大学大学院 教授

理科 / 田代 直幸 常葉大学大学院 教授

英語 / 山田 誠志 至学館大学 教授

東京書籍

東京書籍の

「調査」▶「結果閲覧・分析」▶「学習・指導」
というサイクルが、一つにつながります。

※PBT … 「Paper Based Testing(ペーパー ベースド テスティング)」の略称で、紙と筆記用具を使って解答する試験方式のこと

調査を通して、学力

標準学力調査 CBT

學習指導要

標準学

學習・指導

結果を踏まえて、苦手を解消し、得意を伸ばす

学びをひろげる 教材連携

学力調査の結果に応じたデジタル教材を提供します。自分の得意や苦手に応じた教材で、効果的に復習することができます。

#児童生徒 デジタルフォローアップドリル



あなたの結果と、とくんでほしいドリルです。★マークのついた【物語を読む】は、あなたにおさえてほしい内容です。★マークのついた【言葉の学習】【説明文を読む】は、次のレベルをめざすためにすすめる内容です。

あなたの配分 ★ 全訂正済 ★ 全訂正済 ★ 無訂正済

おすすめる ★ にがてをなくそう ★ つぎのレベルをめどで

No.	ドリル名	学習のねらい	あなたの結果	おすすめ	ドリルへのリンク	とくみじょうきょう
3630	説明文を読む	目的に応じて、必要な情報を見つけている。	○	★	ドリル1 ドリル2	1月31日 6問中 6問正解 👍
3431	言葉の学習	情報と情報との関係について理解している。	×			
3490	説明文を読む	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	—	★	ドリル1 ドリル2	
4400	物語を読む	人物像を具体的に想像している。	×	★	ドリル1 ドリル2	1月31日 3問中 2問正解 👍
4430	物語を読む	登場人物の行動について、描写を基に捉えている。	×	★	ドリル1 ドリル2	
1	チャレンジドリルにとりくもう！				ドリル1 ドリル2	

ドリ
+table+drill **Live!**

児童生徒が学習意欲を維持しながら、サービスを利用するすべての仲間とともに、楽しく学べる新しいデジタル教材です。(有償)

＼ デジタル ／
フォローアップ
 ドリル

無償でご利用できるデジタルドリルです。標準学力調査・標準学力調査 CBTの結果に応じて、課題のある問題を提案します。

フロアアップ
たしかめドリル

無償でご利用できるPDF形式の
ドリルです。

新しいまなびのサイクル

査

等の状況を確認する

／標準学力調査

領に対応！

力調査



標準学力調査 CBT

1人1台端末をフルに活用し、CBTならではの多様な出題形式で多角的に学力を測定します。自動採点による即時の結果返却が、先生の負担軽減とスピーディーな指導改善を支援します。



標準学力調査

確実なデータ活用と長年の実績に基づき、児童生徒の学力を基礎から活用まで精緻に測定します。記述式解答を重視した問題構成により思考力・表現力を丁寧に見取ることが可能です。

結果閲覧・分析

集団／個人／自分の“今”の
状況を把握する

結果資料

集団の傾向から個人の課題まで、学力の現状を豊富なグラフと診断コメントなどで鮮明に可視化します。これにより、学習の定着度や伸びを客観的かつスピーディーに把握できます。得られた結果は授業改善の指針としてだけでなく、保護者への報告や個別指導の充実にも幅広くご利用いただけます。精緻な結果資料は、先生方の授業設計を強力にバックアップし、児童生徒へのきめ細かな指導を実現します。



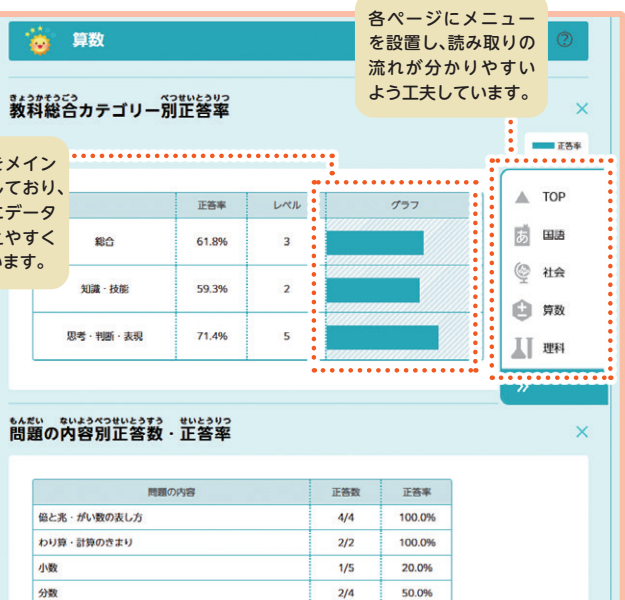
標準学力調査 CBT



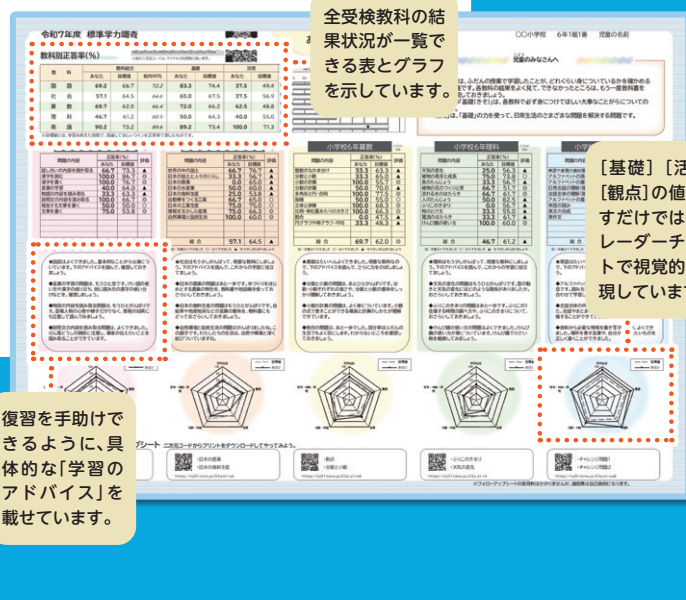
標準学力調査

各ページにメニューを設置し、読み取りの流れが分かりやすいよう工夫しています。

グラフをメインに表示しており、視覚的にデータをとらえやすくなっています。



全受検教科の結果状況が一覧できる表とグラフを示しています。



東京書

《《《 どちらも



CBTの良さ

1 調査後すぐに確認できる速報結果

選択式問題の自動採点により、調査後すぐに速報結果を確認できます。
即座にフィードバックでき、時間を待たずに復習と迅速な指導改善の両立が可能です。

2 「CBTならではの」新しい評価

ICT端末をフル活用します。動画や音声を用いた問題や
直感的な操作を伴う問題など、CBTならではの新しい評価を実現します。

3 「主体的・対話的で深い学び」の授業場面により近い問題

動画や音声や資料を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の
授業場面により近い問題が出題できます。

4 アクセシビリティへの配慮

UDフォント対応や総ルビ、分かち書き対応など、児童生徒一人ひとりの特性に合わせた
環境を提供し、受検をサポートします。



ICT端末を活用できる学年は「CBT」で挑戦的な実施を。
児童生徒の発達段階に合わせて「CBT」×

籍なら

できます >>>



PBTの良さ

1 「書く力」を評価

国語の作文や英語の自由英作文、算数・数学の作図など、実際に「書く力」を評価できます。

2 低学年も実施可能

低学年や、ICT端末に不慣れな児童生徒でも
つまづくことなく、学力調査をスムーズに実施できます。

3 日常的な回答形式を通した記述対策

普段の学習と同じ回答形式で取り組むことで、筆記が主流となる入試や検定に向けた、実践的な記述・回答を体験させることができます。

4 ICT環境に左右されない安定性

学校のネットワークやICT端末のトラブルに左右されることなく
確実な一斉実施が可能です。安定した試験運営を実現します。

ICT操作に不慣れな学年は「PBT」で確実な実施を。
「PBT」を組み合わせた柔軟なご提案が可能です。





問題の特長

特長
1

PBTならではの、学校現場の実態を踏まえた「漢字」「作文」の出題

① 環境のことを考えよう！

ペットボトルは、日本でも約260億本、1秒間に7万本のペースで、販売されている。ごみになっている。

秒速 777 本

環境のために、マイボトルにしよう！
第一中学校でずいぶんキャンペーン

② 問題に答えましょう。

(1) 次の文の——線の漢字の読み方を、ひらがなで書きましょう。

① 貿易で栄えた港町だ。

② 高い志をもつ。

③ レストランを営む。

(2) 次の文の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。③は、送りがないものも書きましょう。

① 作品をひょうかする。

② 明るいせいかくの人だ。

③ 満月がすがたをあらわす。

予測変換に頼らない手書きならではの、漢字の読み書きを正確に測定できます。

デジタル化が進む中でも、
学校現場で「紙に手書きで
書く」という学習は、基本の
活動として行われています。
そうした実態も踏まえて、
しっかりと手書きで自分の
考えを書かせる問題を出題
します。

※「作文」では、3～4つの観点で、複数のねらいを総合的に見取れるよう設計しています。

予測変換に頼らない手書きならではの、
漢字の読み書きを正確に測定できます。

特長
2

PBTならではの「作図」問題の出題

右の三角形ABCと合同な三角形DEFを、コンパスとものさしを使ってかきましょう。
 答えは解答用紙にかきましょう。
 ただし、コンパスでかいた線は消さずに残しておきましょう。

日本の人口構成

年齢階級	男性	女性
0～4	2	2
5～9	2	2
10～14	2	2
15～19	2	2
20～24	2	2
25～29	3	3
30～34	3	3
35～39	3	3
40～44	4	4
45～49	3	3
50～54	3	3
55～59	3	3
60～64	4	4
65～69	4	4
70～74	2	2
75～79	2	2
80～84	2	2
85以上	1	2

与えられた表や統計データをもとに、棒グラフなどを正確に作成したり、白地図に書き込んだりする問題を出道します。

特長
3

端末操作に慣れていない低学年の児童も取り組みやすい紙面

③ つぎの もんだいに ことえましょう。

① つぎの 文が 正しく なるように □ の 中に、「は」「ち」「お」「を」「え」「へ」の どれかを かきましよう。

② トラックが 左 □ まがる。

③ つぎの もんだいに ことえましょう。

① つぎの 文の 正しく なるように □ の 中に、「は」「ち」「お」「を」「え」「へ」の どれかを かきましよう。

② トラックが 左 □ まがる。

解答欄と一体型の
問題冊子で調査問
題に取り組むこと
ができます。

分かち書きに対応
しています。





CBTならではの問題

紙での調査と異なり、動画を活用した問題や、直感的に操作して解答する問題を、積極的に取り上げています。

特長
1

動画を活用した問題

すべての学年・教科で、動画を見て解答する問題を出題しています。シンプルな聞き取りの問題だけではなく、会話文と資料を組み合わせる問題も出題します。

特長
2

コースを選択する機能

一部の学年・教科では、調査内にコース選択があります。教科書や学習内容に応じた問題を選べます。

特長
3

直感的で分かりやすい操作での解答方式

従来の選択式・短答式・記述形式だけではなく、「並べ替え」や「穴埋め」といった10種類以上の出題形式に対応しています。マウスやタッチ操作で解答する問題にも対応しています。

並べ替え問題

穴埋め問題

特長
4

ソフトウェアキーボード

「表現する力」を測定するため、選択式問題や短答式問題だけではなく、記述式問題も出題します。数式や化学式はソフトウェアキーボードを使って入力できます。

※長文を入力させる問題は、3学期実施版の小学校4年生以降の出題となります。

ソフトウェアキーボードの例▶



特長 5

ウォーミングアップ問題

安心して調査に取り組んでいただけるように、本実施の前にウォーミングアップ問題を実施することを推奨しております。ウォーミングアップ問題では、キーボードの入力、音声・動画の再生、さまざまな出題形式の問題の解答を練習することができます。



アクセシビリティ機能

見やすく読み間違えにくい、ユニバーサルデザインフォントを採用し、問題中の色については、カラーユニバーサルデザインを採用しています。また、総ルビ分かち書き機能を搭載しています。



評価方式

● 正答率の分析

全体の正答率だけでなく、問題の内容や領域ごとの正答率も算出します。自治体の正答率や推定全国値との比較も可能です。

● IRT (項目反応理論) での分析

各問題の正誤情報を統計的に処理し、「問題の難易度や特性」を考慮し、評価する手法です。従来よりも正確に学力を測定できます。

● LRT (潜在ランク理論) での分析

各問題の正誤データを統計的に処理し、集団の結果を、従来よりも正確に「段階」で分類します。



文部科学省のCBTでもIRT分析がされています。



マイアセスは、東京書籍がオンラインで提供する評価と学びのサポートシステムです。調査の結果はマイアセスで閲覧します。マイアセスについての詳細はp.17をご覧ください。

ポイント

1

見やすい、詳しい 結果資料

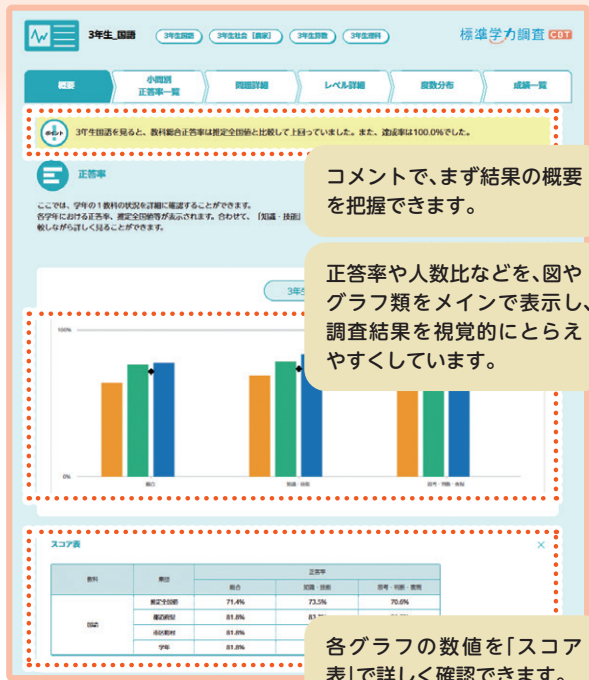


Webカルテは3種類です。① 教育委員会カルテ ② 学校カルテ・子どもカルテ ③ マイカルテ

調査結果は、マイアセスの「Webカルテ」で閲覧できます。「教育委員会カルテ」「学校カルテ」は、図やグラフなどを用いて、視覚的にとらえやすいデータを提供します。「子どもカルテ」では、児童生徒一人ひとりに焦点を当て、詳細な結果を閲覧できます。

学校カルテ

標準学力調査 CBTでは、まず自動採点の問題のみ採点・集計した速報結果が表示されます。その後、手動採点が完了しましたら、完全な結果を閲覧することができます。



短答・記述式問題では、児童生徒の解答を、類型別に確認できます。

※児童生徒名は匿名表示となります。

子どもカルテ

児童生徒の結果を確認するための、先生用のページです。



問題ごとの結果

問題番号	大問	中問	小問	領域	問題の内容	難易度	正誤	正答率		
								クラス	学年	市
1	1	1	1	国語	情報の読み方に関する事項	5	○	20.0%	20.0%	3%
2	2	2	2	算数	話すこと・聞くこと	5	○	20.0%	20.0%	2%
3	3	3	3	英語	話すこと・聞くこと	5	○	20.0%	20.0%	3%
4	4	4	4	算数	話すこと・聞くこと	5	○	20.0%	20.0%	2%
5	5	5	5	英語	話すこと・聞くこと	5	×	0.0%	0.0%	0%
6	6	6	6	算数	書くこと	5	○	20.0%	20.0%	2%
7	7	7	7	英語	書くこと	5	○	20.0%	15.0%	2%
8	8	8	8	算数	書くこと	5	○	20.0%	15.0%	2%
9	9	9	9	英語	書くこと	5	○	20.0%	20.0%	3%

児童生徒一人ひとりに焦点を当て、個人結果の概要から詳細まで把握できます。

問題ごとの結果では、小問ごとの正誤情報を確認できます。



カルテの印刷機能

カルテは、印刷用のExcel形式の帳票ファイルとして出力できます。



ポイント

2

すぐにふり返りができる

児童生徒は、調査の実施後、「マイカルテ」や「ふくしゅうサポート」といった機能が利用できます。標準学力調査 CBTでは、実施後に終了報告していただくことで、すぐに利用可能です。実施直後に結果をふり返ることで、やる気を育てたり学習の定着を図ったりすることができます。

マイカルテ

「マイカルテ」では、児童生徒が問題や内容・観点ごとに結果を確認できます。

もんだい けっか もんだい しょうさい
問題ごとの結果と問題の詳細

問題番号	大問	中問	小問	問題の内容	難易度	結果
1		(01)		インタビューをもとに発表する	1	○
		(02)		インタビューをもとに発表する	1	×
		(03)		インタビューをもとに発表する	2	○
		(04)		インタビューをもとに発表する	1	○
		(05)	①	言葉の学習	1	○
2		(05)	②	言葉の学習	3	○
		(01)		言葉の学習	1	×
		(02)		考えたことを文章に書く	2	○
		(03)		考えたことを文章に書く	1	○
		(04)		考えたことを文章に書く	5	○
3		(05)		考えたことを文章に書く	5	○
		(01)		考えたことを文章に書く	5	○
		(02)		考えたことを文章に書く	5	○
		(03)		考えたことを文章に書く	5	○
		(04)		考えたことを文章に書く	5	○
4		(01)		考えたことを文章に書く	5	○
		(02)		考えたことを文章に書く	5	○
		(03)		考えたことを文章に書く	5	○
		(04)		考えたことを文章に書く	5	○
		(05)		考えたことを文章に書く	5	○
5		(01)		考えたことを文章に書く	5	○
		(02)		考えたことを文章に書く	5	○
		(03)		考えたことを文章に書く	5	○
		(04)		考えたことを文章に書く	5	○
		(05)		考えたことを文章に書く	5	○

小問ごとの自分の正誤情報を確認できます。

標準学力調査 CBT ならではの

標準学力調査 CBTの場合は、終了報告直後から、自動採点の問題についての正誤情報を確認できます。

分析レポート

標準学力調査 CBT、標準学力調査に共通のオプションである分析レポート(考察資料)は、調査結果の概況を示すとともに、特に課題のある小問をピックアップし、対策を提案します。

きょうかそうごう べつせいとうりつ
教科総合カテゴリー別正答率

	正答率	レベル	グラフ
総合	81.8%	5	
知識・技能	85.7%	5	
思考・判断・表現	80.0%	5	

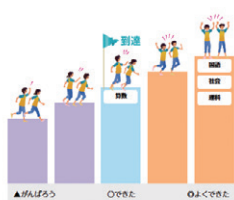
観点ごとの成績を確認できます。

もんだい ないようべつせいとうりつ せいとうりつ
問題の内容別正答率・正答率

問題の内容	正答数	正答率
インタビューをもとに発表する	3/4	75.0%
考えたことを文章に書く	4/4	100.0%
説明文を読む	3/5	60.0%

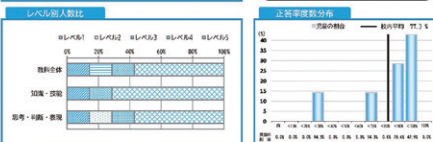
そうごうようりつ
総合評価

教科	あなたのレベル	あなたの正答率	集団の正答率 推定全国値
国語	5	95.5%	55.6%
社会	5	90.6%	55.3%
算数	3	61.8%	62.2%
理科	5	87.5%	65.0%



小3 国語 「知識・技能」が良好である

項目	正答率	レベル
知識・技能	85.7%	5
思考・判断・表現	80.0%	5



項目	正答率	レベル
知識・技能	85.7%	5
思考・判断・表現	80.0%	5

価格 1学年1教科あたり
5,500円(本体5,000円)

標準学力調査の概要

特長
1

調査問題は毎年全面改訂! 問題冊子は手元に残ります※

毎年調査問題を全面改訂します。児童生徒の手元に残った問題用紙には、計算の跡や、悩みながら引いた下線など、「思考のプロセス」がそのまま残ります。自分の書き込みを見ながら振り返ることで、「どこでつまづいたのか」が明確になり、より効果的で深い復習・解き直しが可能になります。

※3学期実施版の中学校3年生の調査問題は原則無改訂となります。

※1学期実施版の小学校2年生と3学期実施版の小学校1年生は、問題冊子と解答用紙が一体型となっておりますので、問題冊子は手元に残りません。

※調査の公平性を保つため、児童生徒への問題冊子の返却は、調査実施時期に関わらず、1学期実施版は6月末まで、3学期実施版は2月末までお待ちください。それまでは、校内での使用・保管をお願いいたします。

特長
2

2種類の評価方式を選べます

「目標準拠評価方式」と「段階評価方式」の2種類の評価方式から選ぶことができます。それぞれの評価方式の特長は、p.13をご確認ください。

特長
3

紙の学力調査ならではの
特長を活かした問題を出題します

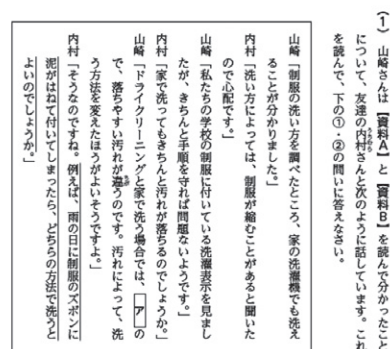
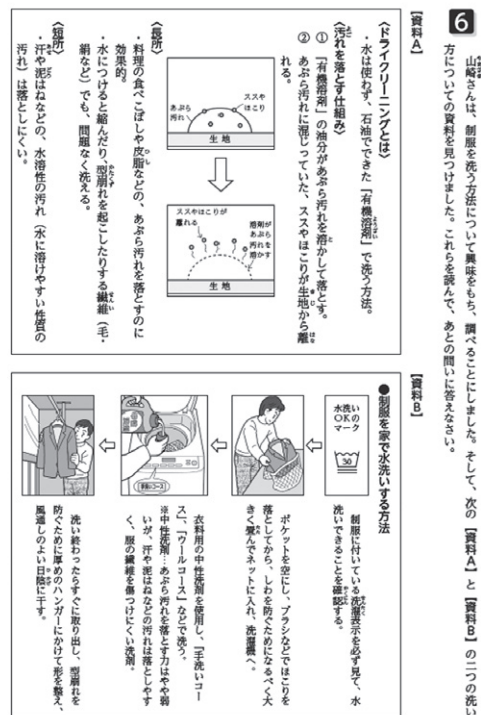
● 低学年の受験に最適

タブレット端末の操作に不慣れな低学年の児童でも実施できるように、小学校1年生・2年生用の調査を発行しています。

● PBTとCBTのハイブリッド受検にも対応

小学校1年生・2年生はPBTを実施、小学校3年生以上はCBTを実施するなど、児童の発達段階に応じて、PBT・CBTを組み合わせる実施していただくことが可能です。

国語では、作文の出題や漢字の読み書きの力を測ることが
できる問題を出題しています(p.7参照)。読解問題では、
説明文や物語文を見開きで読むことができるため、CBTで
の実施に不安のある自治体・学校様には引き続きPBTで
ご実施いただくことが可能です。



- ① 上の「☐」に当てはまる種類として、最も適切なものを次から「☐」で選びなさい。
 - 1 何種類の洗剤を使用するかが異なる
 - 2 洗濯前の準備の仕方が異なる
 - 3 使用する洗剤の性質が異なる
 - 4 洗濯機自体の性能が異なる
 - 5 衣類に付いている洗濯表示が異なる
- ② (例えば)雨の日に洗濯機にポンに洗剤がはめて付いてしまつたら、その方法で洗い流すといふのと同じや、という内容と山崎さんの例にして、山崎さんはいふのを答えていふで。次の条件1から条件4にしたがって書きなさい。
- 条件1 「資料A」と「資料B」をもとにして、どちらの方法で洗つたよと思つたか、その理由を書きなさい。
- 条件2 内容が「華な汚」は、どのような性質の汚れかを明らかにして書くこと。
- 条件3 「二十五歳以上、四十五歳以内、美障に陥つた者」について。



標準学力調査の 評価方式

目標準拠評価方式

評価は「目標値」を基準として行います。目標値は、解答形式や出題形式、プレテストの結果を加味して調査編集協力委員と協議のうえ、統計処理して決定します。

段階評価方式

評価は、学力を5段階に分類した「ステップ」を基準として行います。「ステップ」は、「潜在ランク理論(LRT:Latent Rank Theory)」を用いて結果を分析し、調査分析設計協力委員と協議のうえ決定します。

※LRTについてはp.9を参照してください。



「目標準拠評価方式」の メリット

- ① 目標値は、受検者集団に依存しない指標です。相対評価ではなく絶対評価で、児童生徒の学力を評価できます。
- ② 総合、基礎・活用、観点・領域、問題の内容、解答の形式などについても、それぞれの平均目標値と平均正答率を比較することで、評価できます。

「段階評価方式」の メリット

- ① 問題の難易度と正誤のパターンを元に、「潜在ランク理論(LRT)」を用いて分析することで、児童生徒の学力を段階的に表せます。従来の「正答率」では問題の難易度などの特性が反映されませんが、段階評価方式は「どの問題を解き、どこを間違えたか」を分析することで、その差異を明確にします。
- ② 「正答率」のわずかな数値の差から学力の質的な意味をとらえるのは困難です。一方、段階評価方式は児童生徒が到達している学力段階を明確に示せるため、次のステップへ進むための学習目標が具体化します。この「新しい学力のものさし」は、授業づくりを通じて集団全体のステップアップを目指す指針となります。

「目標準拠評価方式」の結果資料

※段階評価方式の結果資料にも同様の資料が含まれます。

● 教科概要 各教科のプロフィールを1枚で把握できます。

各教科のプロフィールを把握できます。「達成率」とは、目標値と同程度以上の正答率であった児童生徒の割合を示しています。

各カテゴリーの正答率を全国値と並べて、棒グラフで視覚的に表しています。

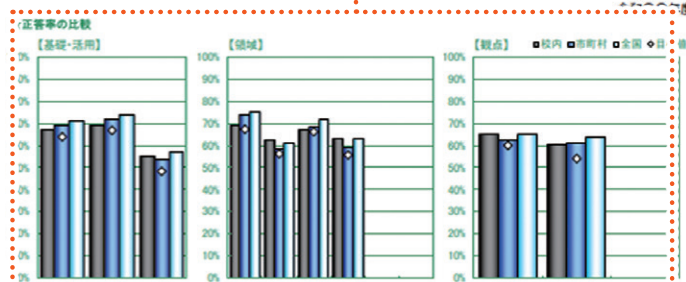
標準学力調査 算数 5年

★集計

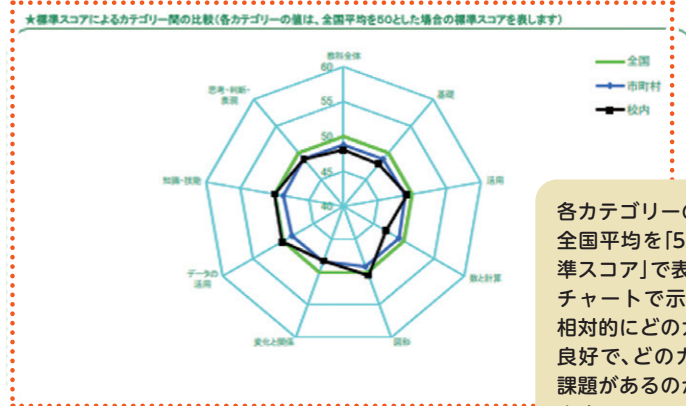
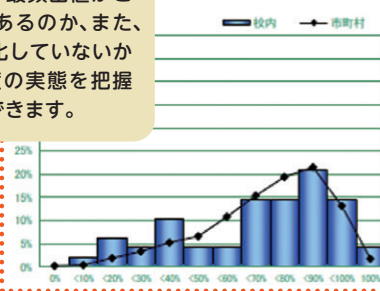
	目標値	平均正答率	達成率
校内	67.0	73.7	68.8
市町村	69.1	73.7	71.3
全国	71.0	76.3	73.8

★カテゴリ別正答率

分類	区分	目標値	平均正答率
基礎・活用	教科全体	63.9	67.0
	基礎	66.9	69.3
	活用	48.3	54.9
領域	数と計算	67.4	68.8
	図形	56.3	62.5
	変化と関係	66.3	67.2
観点	データの活用	55.7	63.4
	知識・技能	60.0	65.3
	思考・判断・表現	54.1	60.8
解答形式	選択	63.4	67.0
	解答	66.8	69.1
	記述	45.0	49.0



正答率の分布状況を示したグラフです。最頻出値がどのあたりにあるのか、また、学力が二極化していないかなど、定着度の実態を把握することができます。



各カテゴリーの正答率を、全国平均を「50」とする「標準スコア」で表し、レーダーチャートで示しています。相対的にどのカテゴリーが良好で、どのカテゴリーに課題があるのかを把握できます。

※カテゴリとは、[基礎][活用][知識・技能][思考・判断・表現]などの観点を指します。

● 記述問題等解答類型一覧

記述問題等の解答類型の内容及、その類型ごとの反応率を示しています。こういった解答が多かったのかを分析でき、無解答率も確認できます。

標準学力調査 小学校5年 算数 記述問題等解答類型一覧

○○立○小学校 5年1組 令和○年度

問題番号	問題のねらい	正答条件/解答内容	解答類型(定義)	反応率	校内
4	小数的第一位と整数の計算ができる。	1. 6	正答 4. 3 (位を揃えずに計算している) 上記以外の解答 無解答(無記入の場合)	1 ○ 72.4 2 × 13.8 3 × 10.3 4 × 3.4	72.8
5	小数的第一位と小数的第二位の計算ができる。	1.3. 2	正答 1.3. 20 (末位の処理ができていない) 上記以外の解答 無解答(無記入の場合)	1 ○ 58.6 2 ○ 10.3 3 × 27.6 4 × 3.4	68.8
15	数直線上に与えられた分数を読み取ることができる。	1 2/3 (5/3)	正答 正答以外の分数を書いているもの [数直線が分数を表していることは理解している] 上記以外の解答 無解答(無記入の場合)	1 ○ 62.1 2 × 10.3 3 × 20.7 4 × 6.9	64.6
26	正方形の面積を求めることができる。	25 (cm ²)	正答 20 (cm ²) [正方形の周の長さを求めている] 上記以外の解答 無解答(無記入の場合)	1 ○ 58.6 2 × 6.3 3 × 31.0 4 × 3.4	60.4
29	四角形の対角線の性質を理解している。	3	選択1: 台形の対角線が垂直に交わることを考えている場合 選択2: 平行四辺形の対角線が垂直に交わることを考えている場合 選択3: 正答 選択4: 長方形の対角線が垂直に交わることを考えている場合 上記以外の解答 無解答(無記入の場合)	1 × 0.0 2 × 24.1 3 ○ 55.2 4 × 17.2	54.2
31	折れ線グラフの傾きから変化の方向を読み取ることができる。	4	選択1: 気温の上昇が最も大きいものを選んで 選択2: 気温の上昇が最も小さいものを選んで 選択3: 気温が最も低いものを選んで 選択4: 正答 上記以外の解答	1 × 10.3 2 × 27.6 3 × 6.9 4 ○ 55.2	8.3

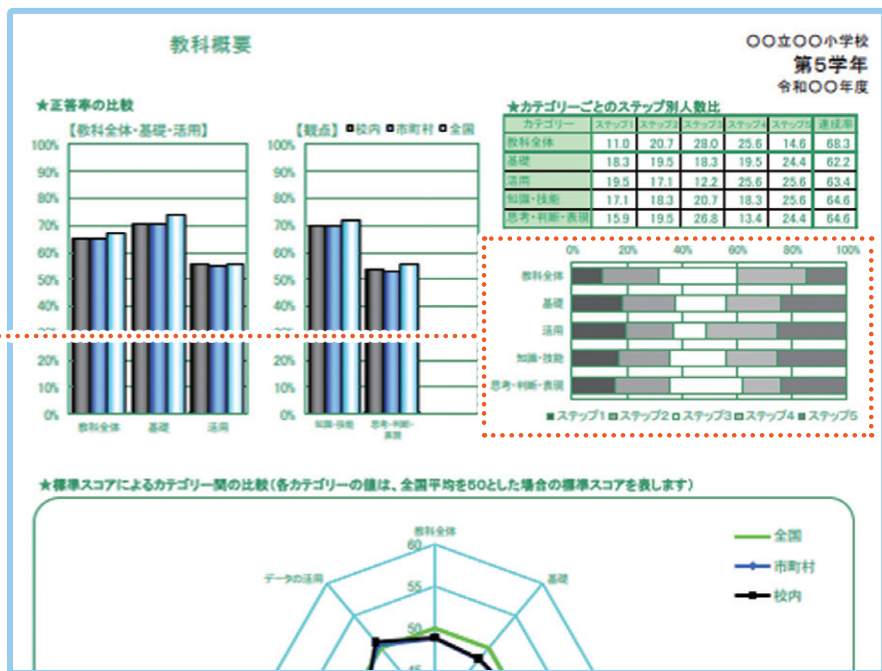
※各種個人別帳票には、児童生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方式も可能です。



「段階評価方式」の結果資料

● ステップ別人数比

【基礎】【活用】【知識・技能】
【思考・判断・表現】の4つの
カテゴリごとの「ステップ
別人数比」を示しています。



● ステップ別分析シート

小問別にステップごとの正答率を示しています。ステップ間で正答率の差がどれくらいできているのかがわかり、定着度の実態を確認することができます。ステップごとのつまずきがより明確になり、指導改善の手がかりが得られます。

隣り合うステップ間の正答率の差が最も大きいところを、太い線で表しています。正答率が同じ設問でも、どのステップの層までが正解していて、どのステップの層からつまずいているのかがひと目でわかります。

標準学力調査

小学校5年算数

ステップ別分析シート

問題番号	問題番号	問題形式	問題の内容	出題のねらい	基礎・活用	観点	問題難易度	ステップ別正答率					正答率	ステップ別ギャップ
								ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5		
1	(1)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	1	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	77.8	◎
2	(2)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	33.3	44.4	11.1	76.2	83.3	54.9	◎
3	(3)	短答	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	1	11.1	47.1	47.8	66.7	100.0	56.1	◎
4	(4)	短答	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	11.1	47.1	43.5	81.0	83.3	56.1	◎
5	(5)	短答	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	44.4	58.8	82.6	85.7	100.0	76.8	◎
6	(6)	短答	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	1	44.4	64.7	95.7	100.0	100.0	85.4	◎
7	(7)	短答	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	1	55.6	58.8	82.6	90.5	100.0	79.3	◎
8	(8)	短答	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	3つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	22.2	41.2	73.9	85.7	91.7	67.1	◎
9	(1)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	1	33.3	52.9	85.7	81.0	100.0	76.8	◎
10	(2)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	2	22.2	41.2	47.8	76.2	91.7	57.3	◎
11	(3)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	1	66.7	70.6	78.3	100.0	100.0	84.1	◎
12	(1)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	1	33.3	58.8	87.0	90.5	91.7	76.8	◎
13	(2)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	2	66.7	52.9	60.9	66.7	83.3	64.6	◎
14	(3)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	2	11.1	41.2	60.9	90.5	91.7	63.4	◎
15	(1)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	1	77.8	82.4	100.0	95.2	100.0	92.7	◎
16	(2)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	2	33.3	47.1	34.8	90.5	91.7	59.8	◎
17	(1)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	2	11.1	35.3	65.2	76.2	100.0	61.0	◎
18	(2)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	1	33.3	64.7	69.6	85.7	100.0	73.2	◎
19	(3)	選択	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	1つあるものを2つに分ける計算ができる。	◎	◎	2	11.1	41.2	56.5	85.7	100.0	62.2	◎
20	(1)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	3	0.0	17.6	65.2	90.5	100.0	59.8	◎
21	(2)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	11.1	47.1	76.3	81.0	91.7	67.1	◎
22	(3)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	33.3	41.2	73.9	85.7	100.0	69.5	◎
23	(1)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	1	44.4	76.5	91.3	100.0	100.0	86.6	◎
24	(2)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	1	11.1	23.5	56.5	42.9	100.0	47.6	◎
25	(3)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	22.2	64.7	82.6	100.0	100.0	79.3	◎
26	(1)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	3	11.1	23.5	85.2	81.0	91.7	58.5	◎
27	(2)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	44.4	52.9	80.9	91.0	91.7	67.1	◎
28	(3)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	2	0.0	29.4	56.5	85.7	100.0	58.5	◎
29	(1)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	1	0.0	70.6	95.7	95.2	100.0	80.5	◎
30	(2)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	4	0.0	17.6	47.8	85.7	100.0	53.7	◎
31	(3)	短答	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	2つあるものを1つにまとめる計算ができる。	◎	◎	3	0.0	17.6	65.2	61.9	100.0	52.4	◎

例

	ステップ1	ステップ2	ステップ3	ステップ4	ステップ5	正答率
小問A	16.1	37.7	61.3	96.8	100.0	53.4
小問B	9.7	33.4	71.0	90.3	100.0	53.4

37.6ポイントの差

35.5ポイントの差

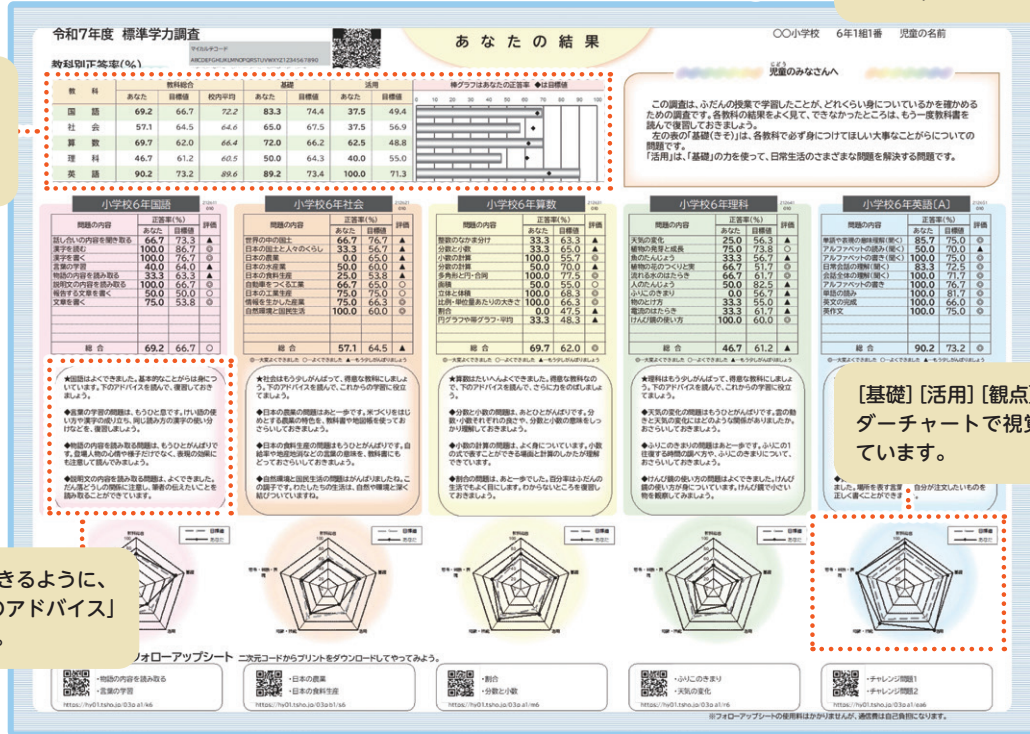
小問AとBは、同じ正答率ですが、小問Aはステップ4以上の層は定着しており、小問Bはステップ2以下の層に課題があるといえます。



個人票

個人票の裏面には、児童生徒や保護者用に「個人票の見方」を示しています。

全教科の結果状況が一覧できる表とグラフを示しています。



※上の個人票は、目標準拠評価方式のものです。

オプションのご紹介



個人経年比較

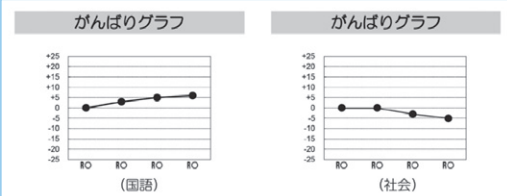
「がんばりグラフ」では、一人ひとりの調査結果の推移がわかります。

※本サービスの提供には、別途オプション料金1人あたり53円(本体48円)をいただきます。

※次の3種類からお選びいただけます。

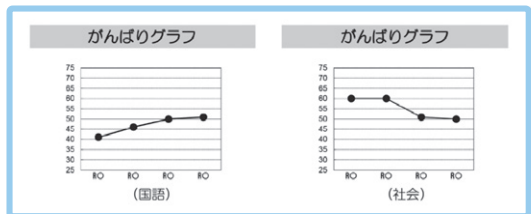
●自己内評価

調査初年度の成績を、全教科横並びで0に設定し、これを基点にして以降の学力の推移を折れ線グラフで表します。



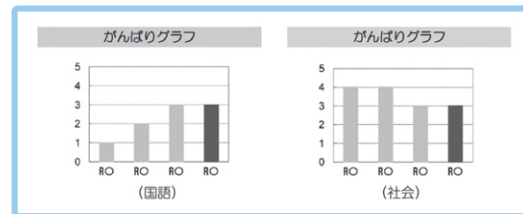
●標準スコア

教科ごとの成績(標準スコア)を毎年プロットし、折れ線グラフで学力の推移を表します。



●ステップ評価(段階評価方式のみ)

教科ごとの成績(総合ステップ)を毎年プロットし、棒グラフで学力の推移を表します。



**紙の調査でも
マイアセスを
ご利用ください！**

紙の調査を実施した場合も、マイアセスのご利用がおすすめです。
児童生徒一人ひとりの紙で実施した調査結果データと、
アカウント情報(total ID)をひも付けすることで、
次のことができるようになります。

- ① Webカルテが閲覧できるようになり、分析が充実します。**
-
- ② ふくしゅうサポート (p.18-19) の機能が使えるようになり、調査後の学習指導にお役立ていただけます。**

全体の結果をみる

教科ごとの結果をみる

ここでは、あなたが受験した標準学力調査の結果のまとめをみることができます。
 これまでの学びの振り返りや、これからどんなことをがんばればいいかを知るための大切な情報です。
 正答率だけでなく、あなたの学力の相対値であるレベルも表示されています。
 自分の相対値はどのように変化したか、どこをもっと伸ばせるかをしっかり見てみましょう！

総合評価

教科	あなたの正答率		集団の正答率	目標値
	国語	算数	全国平均	
国語	96.2%		67.5%	64.8%
算数	86.1%		70.9%	66.9%

教科別評価

国語

算数

マイアセス

- 調査を管理する
- 結果をみる
- 復習状況を確認する
- マイアセスLab.
- 設定をする
- サポートサイトをみる
- とじる

ホーム > ふくしゅうサポート

ふくしゅうサポート

児童生徒が取り組んでいるドリルを確認したり、取り組み状況を確認したりすることができます。
 ※フォローアップシート・たしかめドリルは、紙で調査実施をした場合のみ利用できます。取組
 況の確認はできません。

**フォローアップ
たしかめドリル**

**フォローアップシート・
たしかめドリル**

**デジタルフォローアップ
ドリル manager**

**タブレット
Live! manager**

デジタルフォローアップドリルも
無償でご利用できます。

✓ 情報のひも付けについて

情報のひも付けは、学校ページからクラスごとに一括登録する方法と、児童生徒一人ひとりが自分の端末から登録する方法があります。

- クラス別一括ひも付け画面

クラス別マイアセス登録用二次元コード一覧

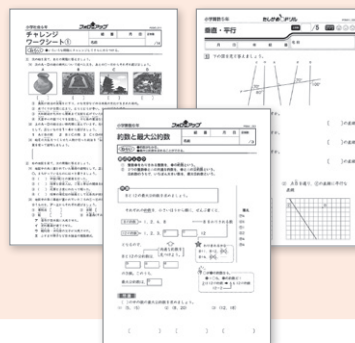
この二次元コードはマイアセスを利用する際に、児童生徒のtotal IDと受検結果の紐づけを行うための利用方法と児童生徒アカウントとの紐づけ方法については開封の『マイアセス』に利用に関する重要な

2年1組	2年2組	2年3組
 ZZZZZZZ-2222-2222-2222-2222-0F7NC-870WG	 ZZZZZZZZ-2222-2222-2222-131822A1008A	 ZZZZZZZZ-2222-2222-2222-131822A1008A

「ふくしゅうサポート」は、学力調査の実施後に、児童生徒一人ひとりが自分の「得意」や「苦手」に合わせて復習できるページです。「ふくしゅうサポート」には、「フォローアップシート・たしかめドリル」「デジタルフォローアップドリル」「タブドリLive!」の3つのサービスがあります。紙でもタブレットでも復習できるのが特長となっています。

標準学力調査 CBTならではの
標準学力調査 CBTの場合は、終了
報告直後から、「ふくしゅうサポ
ート」機能を利用できます。

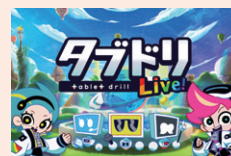
フォローアップシート・たしかめドリル
無償でご利用できるPDF形式のドリルです。



フォローアップの サンプル

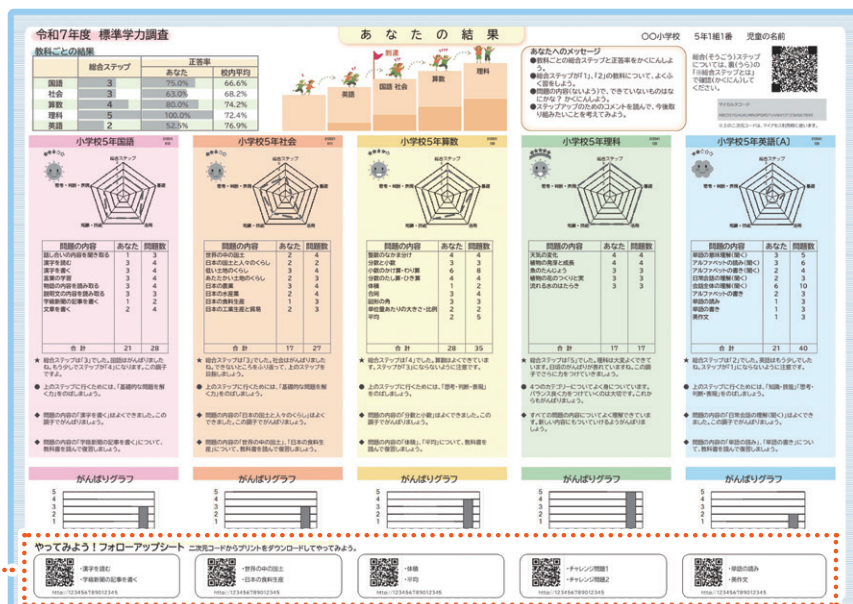
タブレット端末で手軽にふり返りができるデジタルドリルです。無償でご利用できます。

別途タブドリLive!を注文した場合に利用できるサービスです。タブドリLive!から、標準学力調査／標準学力調査 CBTの復習が可能です。



タブドリLive!の
ホームページはこちらから

個人票では、児童生徒の結果をもとに、2種類のシートをピックアップしています。



#

デジタル
フォローアップ
ドリル

児童生徒

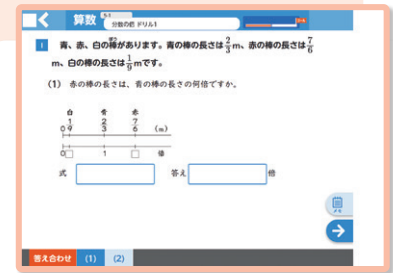
「デジタルフォローアップドリル」は、タブレット端末で効果的に復習できるデジタルドリルです。採点完了後、一人ひとりの調査結果に合わせて、今取り組むべき問題に「おすすめマーク」が表示されます。児童生徒が自身の正誤情報やこのマークを参考にドリルを選択して取り組むことで、個別最適な学びを実現します。

あなたの結果と、とくんでほしいドリルです。★マークのついた「物語を読む」は、あなたにおさえてほしい内容です。★マークのついた「言葉の学習」「説明文を読む」は、次のレベルをめざすためにおすすめのコンテンツです。

あなたの結果 ○ 全問正解 × 全問不正解 - 無回答
おすすめ ★ にがてをなくそう ★ つぎのレベルをめざそう

問題の分野	出題のねらい	あなた	おすすめ	ドリルのリンク	とくみじょうきょう
3(4) 説明文を読む	目的に応じて、必要な情報を見付けている。	○	★	ドリル1 ドリル2	1月31日 6問中 6問正解
3(13) 言葉の学習	情報と情報との関係について理解している。	×			
3(9) 説明文を読む	文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。	-	★	ドリル1 ドリル2	
4(10) 物語を読む	人物像を具体的に想像している。	×	★	ドリル1 ドリル2	1月31日 3問中 2問正解
4(15) 物語を読む	登場人物の行動について、描写を基に捉えている。	×	★	ドリル1 ドリル2	

① チャレンジドリルにとりくもう！



ドリルへのリンクボタンを押すと、デジタルフォローアップドリルが表示されます。

標準学力調査 CBT ならではの

次のレベルを目指すためのおすすめの内容に★マークが付きます。

ドリルは自動採点され、結果が表示されます。

標準学力調査 CBT ならではの

苦手をなくすための内容には、★マークが付きます。

成績が良かった児童生徒向けに、難易度が高いチャレンジドリルも用意しています。

先生

先生が「デジタルフォローアップドリル」の内容と、児童生徒が取り組んだ学習履歴を確認するための管理機能も用意しています。

5年 1組 令和7年度 標準学力調査 CBT 1学期 5年生 国語

表示

クラスのドリル取り組み状況

おすすめドリル完了率 11.4%

ドリルの一覧を見る 学校カールのクラス・教科を見る

児童生徒のドリル取り組み状況 (概要)

出席番号、表示名、レベルは標準学力調査CBTの情報になります。最新取得日、おすすめのドリル完了率はデジタルフォローアップドリルの情報になります。

出席番号	表示名	レベル	最新取得日	おすすめのドリル完了率
1番	たかなぎさん	レベル3	6/20	20.0%
2番	あおきさん	レベル1	2/25	4.2%

令和7年度 標準学力調査 CBT 3学期 5年生 国語

1番 たかなぎさん レベル3

総合正答率 72.2% 5/7 最新日 1/20 前回 1/9 前4回 1/8

小規模取り組み状況

〈上段〉問題の内容 〈下段〉出題のねらい

問題番号	内容	最新取得日
1-(5)-①	言葉の学習 数値について理解し、正しく使っている。	1/20 9問中6問正解
2-(5)	言葉の学習 第4学年に記されている漢字を正しく使っている。	1/20 16問中14問正解

マイアセスの分析機能について



分析機能「マイアセスLab.」

「マイアセスLab.」では調査結果のさらに深い分析や、商品どうしを組み合わせた分析を提供します。「マイアセスLab.」では3つの分析に対応しています。

3つの分析

ダッシュボード

クロス集計

推移・経年変化



マイアセスLab.画面例



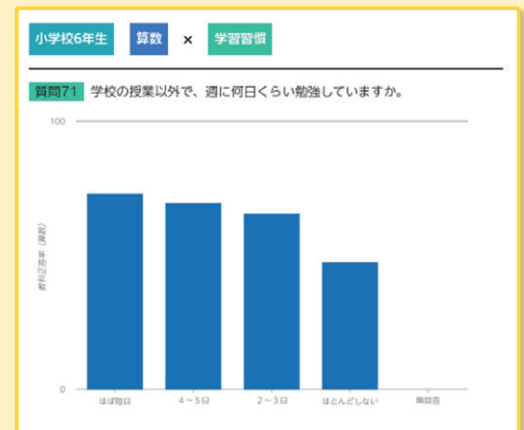
- 標準学力調査 CBT、標準学力調査とともにご利用いただけます。
- 標準学力調査とi-checkなどの他商品とをクロスした分析が可能です。
- 標準学力調査 CBTと標準学力調査とを比較する分析も可能です。

※調査の実施年度によっては一部制限があります。

グラフの選択

教科・カテゴリー等の選択

クロス集計の例



クロス集計や推移・経年変化では、グラフや教科・カテゴリー等を自由に設定し分析することができます。

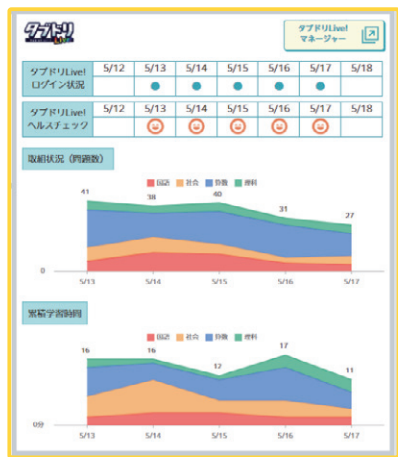
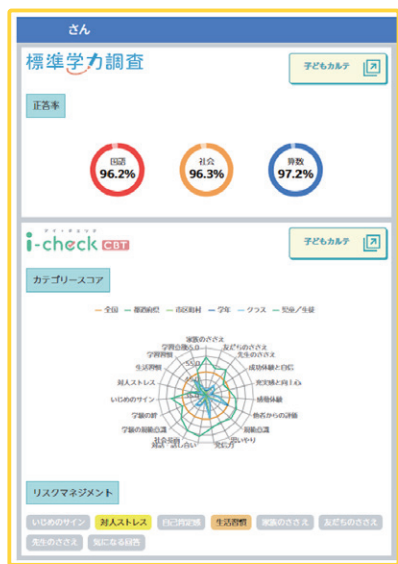
マイアセスLab.機能

ポイント

1 すべての結果がひと目で分かる!

ダッシュボード

ダッシュボードでは標準学力調査の結果・i-checkの結果・タブドリLive!の学習記録をクラス、個人の単位でひと目で見るができます。



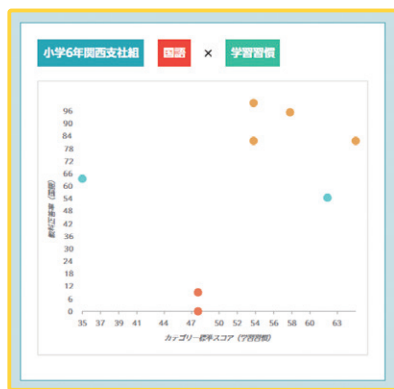
※個人のダッシュボード

ポイント

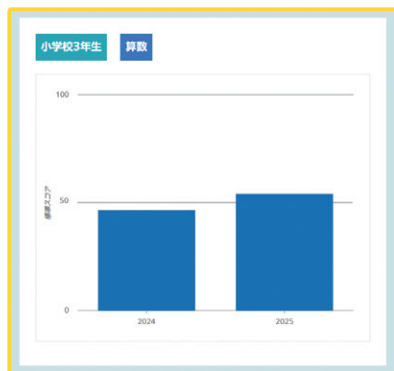
2 より多面的な分析が可能に!

クロス集計

クロス集計では、標準学力調査の結果とタブドリLive!の学習状況やi-checkの質問項目とのクロス集計結果を見ることができます。



※標準学力調査 × i-check の散布図
(正答率) (学習習慣)



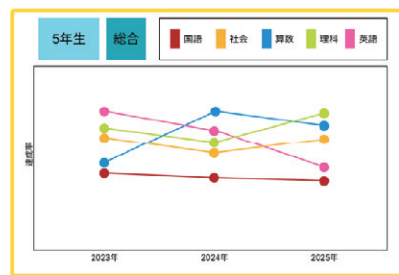
※標準学力調査 × タブドリLive! のグラフ
(4層分析) (累計学習時間)

ポイント

3 過去のデータからの成長を実感!

推移・経年変化

推移・経年変化では標準学力調査やi-checkの結果について、過去のデータから変化を見ることができます。



※標準学力調査の経年変化



※i-check推移変化のレーダーチャート

マイアセスと連携する商品のご紹介

アイ・チェック i-check

コンセプト

i-checkは、「自己肯定感」「ソーシャルスキル」などの様々な視点で、児童生徒の個性や背景、今の心のありようを、立体的に描き出す調査です。

児童生徒一人ひとりが自分を大切に思っているか、クラスの間関係、いじめの実態、悩みなど、表出しにくい様々な情報を可視化します。



📌 カテゴリーについて

i-checkは、「自己認識」「社会性」「学級環境」「生活・学習習慣」の4つの大きいカテゴリーで構成されています。さらに下位カテゴリーとして下の表のとおりに設計しています。

自己認識	愛されていますか	家族のささえ
		友だちのささえ
		先生のささえ
	自己肯定感	成功体験と自信
		充実感と向上心
		感動体験
社会性	ソーシャルスキル	他者からの評価
		規範意識
		思いやり（人間関係構築力）
		発信力
学級環境	学級風土	対話・話し合い
		社会参画
	リスク管理	学級参画
		学級の規範意識
生活・学習習慣	生活習慣	学級の絆
		学級の絆
	学習習慣・意欲	いじめのサイン
		対人ストレス
生活・学習習慣	生活習慣	生活習慣
		生活習慣
	学習習慣・意欲	学習習慣
		学習意欲

📌 質問内容

学齢に合わせた適切な数の質問を用意しています。また、児童生徒が具体的なイメージを持てるよう、質問項目を工夫し、答えやすくしています。

(8) 信じていた友だちから、思いもよらぬ言葉を聞かされたり、つらい態度をとられたりして、傷ついたことがありますか。

📌 しおり

- ☐ 1 一度もない
- ☐ 2 けんかはしても傷つくことはない
- ☐ 3 あったけど仲直りした
- ☐ 4 いま、きず 今も傷ついていることがある

📌 Webカルテ

調査結果は、Web上で確認することができます。教育委員会用の「教育委員会カルテ」、学校の先生用の「学校カルテ」と「子どもカルテ」、児童生徒用の「マイカルテ」を提供します。

カルテの工夫

- テーマごとにページを分類し、各ページで何を読み取るのかを分かりやすくしています。
- 児童生徒一人ひとりの状況を、グラフやコメントで詳しく把握できるようにしています。

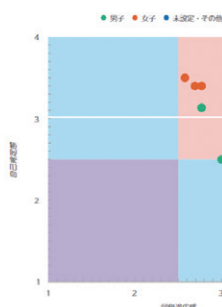


紙の調査でも
マイアセスが
利用可能です！

紙の調査を実施した場合も、連携することでマイアセスで結果を閲覧することができます。



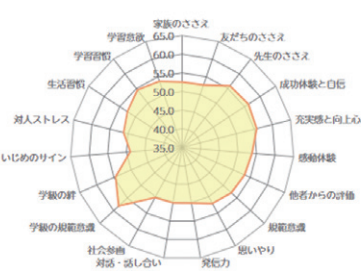
学校カルテ



出席番号	名前	自己肯定感	学級活動
1	しまだ	3.1	3.6
2	きよもと	3.5	2.6
3	ふくみ	3.5	4.0
4	ちやだに	3.1	3.1
5	ほりこし	3.4	2.7
6	ふるや	3.7	3.9
7	はやし	2.9	3.9
8	にしむら	3.2	3.5
9	ゆきかわ	3.0	3.7
10	ふけ	3.3	3.2
11	まつおか	3.8	4.0
12	きむら	3.3	3.6
13	まつおか	3.3	3.5
14	すむ	3.5	3.8
15	い		

6年1組

6年1組



▲レーダーチャートや棒グラフ、散布図など、それぞれの項目に適したグラフ類で表示しています。

▲散布図のプロットを押すと、該当する児童生徒が名簿上で色付けされるなど、読み取りやすい工夫をしています。

▶個人の心・体の安全に関わるカテゴリーについて、回答状況の気になる児童生徒をリスト化しています。該当項目はラベルで表示し、状況がひと目で分かるようにしています。

概要	リスクマネジメント	回答構成比	回答結果一覧
表示する項目を絞り込む			
☐ すべて選択 ☒ いじめのサイン ☐ 対人ストレス ☐ 自己肯定感 ☐ 生活習慣 ☐ 家族のささ ☐ 友だちのささ ☐ 先生とのささ ☐ 気になる回答			
クラス・番号欄			
クラス	番号	名前	リスクマネジメント
1	2	きよもと	いじめ 対人 自己肯定感 生活習慣 家族 友だち 先生 気になる回答
1	16	いぬば	いじめ 対人 自己肯定感 生活習慣 家族 友だち 先生 気になる回答
1	17	ひら	いじめ 対人 自己肯定感 生活習慣 家族 友だち 先生 気になる回答
1	19	かたき	いじめ 対人 自己肯定感 生活習慣 家族 友だち 先生 気になる回答

子どもカルテ

児童生徒の状況を、一人ひとりに焦点を当てて詳しく見ることができます。学校の先生、教育委員会の先生のみ閲覧ができます。



マイカルテ

児童生徒に返却される結果です。児童生徒は、自分の端末から結果を閲覧できます。学校の先生も閲覧できます。



マイアセスでは、CBTの実施（終了報告を含む）後、最短で即日結果を閲覧できるため、「今」の状況を「すぐ」に分析できます。

マイアセスと連携する商品のご紹介

これまでにないLive! 感のあるドリルを
はじめてみませんか？



価格 1教科1人あたり **550円**(本体500円)

※1年間(年度末ライセンスの場合)

ひとりでもみんなでも もっと学べる Live型ドリル教材!



詳しくはこちら

「TabudoriLive!」は、児童生徒が学習意欲を維持しながら、サービスを使う仲間とゆるく繋がりながら、共に楽しく学べる新しいデジタル教材です。学びをサポートする仕組みを数多く設けているので、学習が苦手な児童生徒であっても、モチベーションを高く保つことができます。先生が指導しなくても、児童生徒は「TabudoriLive!」を自ら開き、自主的に学びに向かうので基礎学力や学習習慣の定着を図ることが期待できます。先生は授業中だけではなく、家庭での児童生徒の学習や生活状況を見守ることができるので、これまで以上にきめ細かな指導が可能になります。

マイアセスとの連携

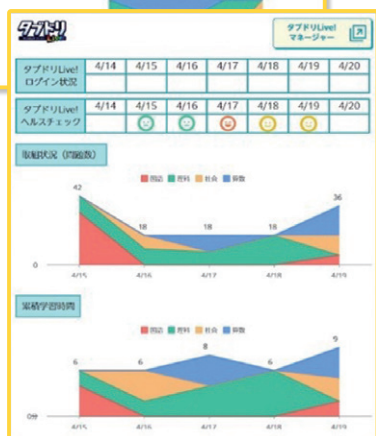
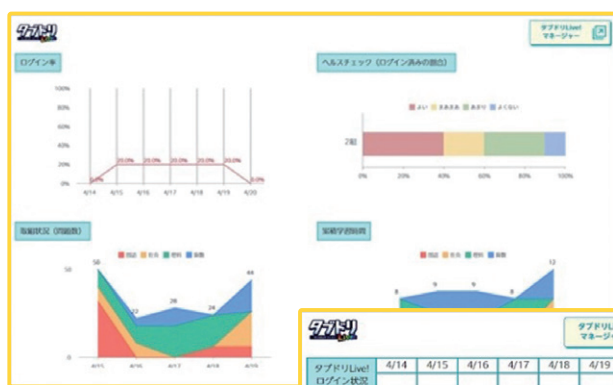
●「マイアセス」のふくしゅうサポート機能と連携

標準学力調査 CBT・標準学力調査を受検すると、実施内容に加え、問題内容に該当する「TabudoriLive!」のリンクが表示されます。リンクをタッチすると「TabudoriLive!」単元画面が表示され、学力調査の復習をすることができます。

●「TabudoriLive!」の学習履歴を「マイアセス」へ蓄積

「TabudoriLive!」で解いた問題数や学習時間などの情報は「マイアセス」のダッシュボードに表示されます。

また、「TabudoriLive!」の学習履歴は年度末でリセットされ、次年度より「マイアセス」で一元的に管理されます。



2024年度 5年1組

「学習者」で見る

教科: ☒ 全教科 ☐ 国語 ☐ 社会 ☐ 算数・数学 ☐ 理科 ☐ 英語

表示

出席番号	学習者	累計問題数	平均点	累計学習時間
1	たかやなぎ	347 問	91 点	133 分
2	あおき	192 問	91 点	63 分
3	やまだ	41 問	96 点	57 分
4	あさば	65 問	85 点	52 分

「読む力」を科学的に 測定・診断するRST（リーディングスキルテスト）



RST-マイアセス連携版

価格 1人あたり **1,815円**(本体1,650円)

「日本語のルールに従って教科書の文章を読むことができない生徒がいるのではないか」という仮説からスタートした「基礎的な読む力」を測るテストです。教科書等の基本的な文章はもちろん、図やグラフ等からも情報を読み取ることができるのか、「リーディングスキルテスト」では、文章に書かれている意味を正確にとらえ、新しい知識を身につけるために必要な「骨太の読む力」を科学的に測定・診断します。

出典:教育のための科学研究所 (<https://rst-web.s4e.jp/>)



詳しくはこちら

少人数受検に対応！

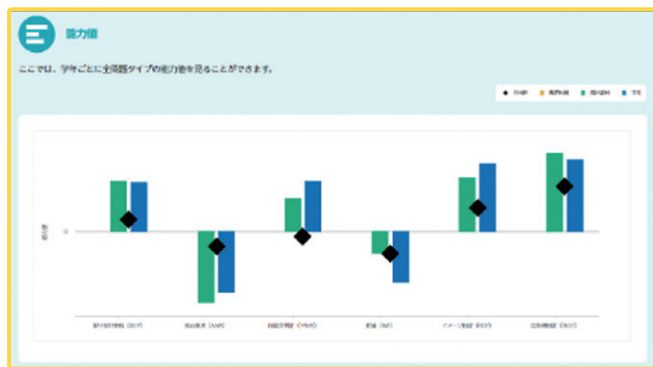
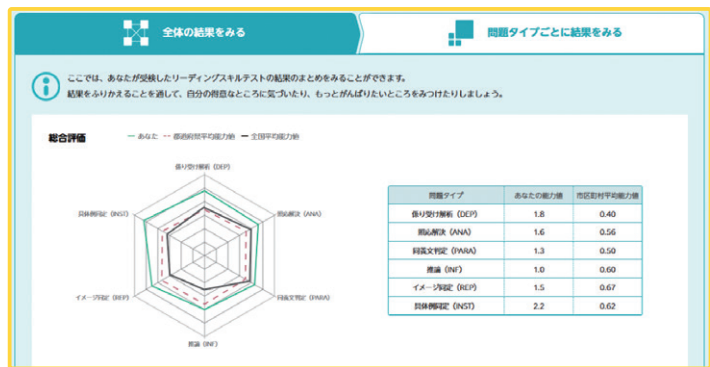
20名以下の少人数の学校での申し込みにも対応可能です。

学びの全体が見える化！

個人単位だけでなく、学校・学級集団単位での結果を提供します。自治体でのご採用時には自治体内の学校間比較の資料を提供します。

簡単受検 + 深い分析

東京書籍のアカウントサービス total IDを利用することで、ご要望に応じて東京書籍の学力調査とのクロス集計を提供いたします。



マイアセスからつながる 様々な学び 「アプリにとりくむ」機能

東京書籍の提供する様々な学習アプリに、マイアセスからアクセスが可能です。一部のアプリは無償でご利用できます。



文部科学省「新体力テスト」実施要項準拠の学校体力テストCBTシステム

デジタルでつなぐ、
子どもたちの成長記録

価格 1人あたり **165円**(本体150円)

TOSHO-DOSA SCHOOLは、教育委員会・学校・家庭をつなぐ学校体力テストのCBTシステムです。児童生徒がタブレット端末から入力した体力測定記録は、自動的に教育委員会・学校データとして集計・分析され、瞬時に結果資料をフィードバックします。デジタル化によって教育委員会・学校での作業負担の軽減を実現し、児童生徒の体力向上を9年間にわたってサポートするサービスです。



詳しくはこちら



を

実施していただいた教育委員会に インタビューしました！

令和7年度に標準学力調査 CBT 1学期版の小学校3年生～6年生で国語・算数、中学校1年生・2年生で数学・英語を実施していただいた港区教育委員会で統括指導主事の富樫学先生にインタビューをさせていただきました。

港教育委員会事務局学校教育部

富樫 学 統括指導主事



**どうして学力調査をCBTで実施したのですか。
CBTの調査で期待されていることを
教えてください。**

港区はICT教育に力を入れている。全国に先駆けて環境の整備を進めてきた。一方で、子どもたちのICTの活用能力については個人差がある。CBTで問題を解いていくことに慣れていない子どもがいるため、慣れが必要だと考えている。すべての子どもにその機会を提供して、現状の学力を把握するために標準学力調査 CBTを導入することになった。

CBTの調査で期待できるところは、紙媒体とは異なる「ならではの魅力」がある。紙媒体では数居が高い子どももいる。また、紙媒体だと、紙（解答用紙）の回収などの負担がある。取扱いの簡易さもある。教員からも「負担の軽減になっている」という声が出ている。

**標準学力調査 CBTで調査を
実施していただいたの率直なご感想を
教えてください。**

先生方からは大きく分けて4つの感想が届いている。

- ①学級担任からは、「動画を使った問題」が好評である。
紙ベースでは出題できない問題であり、教員が同じよ

うな問題を出題することや、1対1で対応することが難しい問題であることからそのような声が出ている。

- ②CBT方式でありながら、「記述式問題」が出題されている点もよい。この観点での能力もみとることができる。
③「直感的」に答えやすい出題方式、解答方式となっているのがよい。読み取ることに困り感を感じる子も解答しやすい。
④アクセスが早く、快適に実施することができた。

以上の工夫点もあり、子どもたちは集中して取り組んでおり、紙の調査で見られる、いたずら書きも皆無だった。能動的な取り組みができた。紙の調査などで苦手意識のある子どもたちも前向きに取り組める点は非常に大きい。結果データの提供が早いこともよい。特に、こういった学力調査では、現状の把握を行うものであるが、これまでは結果データが返却されるのが、数ヶ月後だった。今の状態が知りたいのに、結果返却が遅いと保護者にも説明しにくい。結果返却の期間が短縮されたことは、非常に大きい。

教育委員会の立場としても、自治体としての結果がわかりやすくなっていると同時に、各学校の状況や、学年別・教科別の傾向が端的に把握しやすい点も大きい。より視点をシャープにして学校への指導助言に活かすことができる。ICT活用において、これまでさまざまな取り組みを行ってきた中で、ICT活用による成果を確認できたのではないかという感覚をもっている。



実施までの準備や実施後の ご負担感について教えてください。

紙での調査を実施していたときに比べて、膨大な紙の資料の管理の手間が減った。冊子の数をカウントしたり、補充したりすることがなくなった。個人情報を含むため、郵送などでの取扱いにも注意が必要となるが、その心配もなくなった。紙での調査の際は、終了報告を学校から電話やメールなどの管理を教育委員会で行っていた。これがなくなったので、教員へのオペレーションをスムーズに行うことができた。区内で副校長の立場としてCBTを実施したこともあったが、ノーストレスで子どもたちの今の情報を得ることができた。教育施策に反映する際にオンラインで材料にすることができるのがよい。

調査実施後に教育委員会として 取り組まれたことを教えてください。

各学校で「授業改善推進プラン」を作成している。全国学力・学習状況調査と区のCBTの調査をもとに学校ごとに分析をして、教科指導などの改善に取り組んでいくことを各学校が考えている。そのためのエビデンスになる。学年ごと・観点別で結果がしっかり出ているので、俯瞰して学力を掴むことができる。これらの活動を通して学力伸長に取り組んでいる。

CBTの実施後の授業で、何か指導の方法など 変える必要があるとお考えでしょうか。 または、今後どのように授業を変える必要が あるとお考えでしょうか。

CBTだから授業を変えるということはしていない。あくまで子どもたちの学力を把握するためのツールの一つとして捉えている。紙の調査で拾いきれなかった学力もCBTの調査で把握することができる。授業力の向上などは、これまで通り授業実践の積み重ねが必要である。

港区では、全校で複線型授業^{*}を取り入れ「MINATOスタイル」^{*}を打ち出している。複線型授業によって子どもたちに力がついているのか?知識・理解はどうか?などの声もあるが、子どもたちは複線型の学習が大好きである。先生や保護者のなかにも「本当に学力がつくのか?」とい

う疑問をもたれる方もいるが、CBTの学力調査によって、「推移・経年」で見取っていくことがセットになる。全国学力・学習状況調査だと特定の学年のみの実施である。知識や思考の観点での可視化を含めて有用だと考えている。

※MINATOスタイル … 令和7年10月から、新たに教室外や校外学習でも利用できるタブレット端末を導入し、ICTを活用した複線型授業「MINATOスタイル」の紹介ページ



※複線型授業 … 港区教育委員会で作成されたタブレット端末を活用した「複線型授業」リーフレット



「ふくしゅうサポート」で期待している ことなどについて教えてください。

「ふくしゅうサポート」については、タブドリLive!^{*}を採用している学校では、宿題としての取り組みや、朝のモジュール学習などをはじめ、学びを振り返る場面で重宝されている。学力調査の実施後は、やりっぱなしになっているという傾向があるため、デジタルフォローアップドリルなどの教材の活用を促していく必要があると考えている。調査を通じてつまづきを見つけ、改善していくことが必要となるため、これらを通じて学力の伸長につなげていきたい。「ふくしゅうサポート」の活用を通じて、学力が充実していくことを期待している。

※タブドリLive! … 東京書籍が提供する、小学校と中学校の学習をサポートするデジタルドリル教材です。児童生徒が学習意欲を維持しながら、サービスを使う仲間とつながり、共に楽しく学べるように、さまざまな仕組みが設けられています。

※執筆者の所属や役職は執筆時のものです。



誤答傾向から授業改善に活かす

～ 学力調査結果データの利活用の取り組み ～

佐用町
教育委員会



竹田 兼基
学校教育指導主事

キャラハン すずか
令和7年度
学校教育指導主事

古川 光弘
学校教育指導主事 兼
教育研究所長

西川 典男
教育推進室長

兵庫県佐用町では、標準学力調査および質問調査の結果を詳細に分析し、その結果から明らかになった課題を日々の授業の中で解決するための町独自の取り組みとして

「確かな学力きらめきプラン」を進めています。

このプランは、学力向上アドバイザーの長谷浩也教授(姫路大学)にご参加いただき、結果分析に関する議論からスタートし、教員全体の研修を通じて具体的な授業改善へと繋がられています。

●「確かな学力きらめきプラン」の概要

佐用町教育委員会では、児童生徒の学力の定着状況を正確に把握するため、毎年1学期に東京書籍の標準学力調査を実施しています。その結果は単に各校へ通知されるだけでなく、町の指導主事が具体的な改善案を加え、「確かな学力きらめきプラン」の報告書として取りまとめられます。このプランは、管理職や一部の担当者だけでなく、町内のすべての教員が参加する研修の場で共有されます。これにより、個々の教員が町教育課題を自分自身の事として捉え、指導改善への意識を高める土壌を育てています。

●「学力向上ディスカッション」の導入

さらに、より現場に根ざした改善を目指し、2023年度からは「学力向上ディスカッション」がスタートしました。これは、調査結果から見えた課題を、具体的な授業実践に落とし込むための重要な取り組みです。この一連の取り組みは、4月の学力調査の結果を、教育委員会と学力向上アドバイザーを務める長谷浩也教授(姫路大学)が連携して専門的に分析を行います。その上で、10月には各校の研究推進担当教員等が集まり、実際の誤答例などを基に、日々の授業で実践できる指導の具体策を徹底的に

議論します。このディスカッションで深められた内容は「研究所だより」として町内全校に配付され、優れた実践や課題が全教員に共有される仕組みも確立されています。

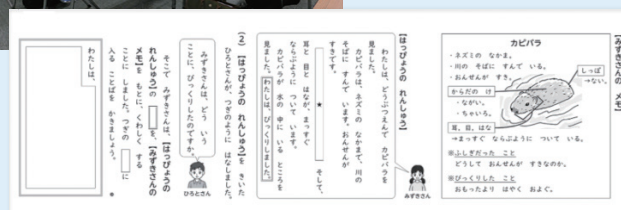
●「書くこと」の能力向上と個別指導への注力

一連の取り組みは、特に佐用町児童生徒のウィークポイントである「書くこと」の能力向上や、誤答分析に基づいた一人ひとりへのきめ細やかな指導の改善に重点を置いています。学校の垣根を越えて教員が課題と改善策を共有することで、小中学校間の連携が強化され、町全体で子どもたちの学びを支える体制が構築されています。



◀学力向上ディスカッションの様子

「書くこと」の課題(国語):
特に小学校3年生で「情報の扱いに関する事項」は改善がみられるものの、「書くこと」に課題がある。



▲問題例 小学校2年生



解答類型・類型別正答率

解答類型	類型番号	正答	正答率
正答	1	○	7.2%
正答：一語小分けの誤りがあるが、おおむね正しく書いている場合	2	○	1.2%
上記以外の解答	9	×	68.7%
無解答（無記入の場合）	0	-	22.9%

解答類型別正答率

○ 類型1 ○ 類型2 ○ 類型3 ○ 類型4
○ 類型5 ○ 類型6 ○ 類型7 ○ 類型8 ● 類型9



▲東京書籍「マイアセス」の解答分析ページで表示される類型外の誤答例

【誤答原因の考察】

みずきさんの「はっぴょうのれんしゅう」の囲みを見て、「びっくりしました」と解答している児童や「どうぶつえんで見た」「水の中で見た」と解答している児童、自分の感想を記述している児童が存在する。

⇒三つの資料の情報を基に解答を導く必要があるが、児童が「勝手な判断で書いている」傾向がある。または問題文の文章を読む前に問題（みずきさんのメモ、はっぴょうのれんしゅう）を読んで、直感的に答えている。普段の授業の中で「何でも自分の言葉で書いてみよう」という指導が強すぎることも原因の可能性として考えられる。

【考えられる手立て】

⇒ゆっくりと文章を読み、そして考える習慣を身につけさせる必要がある。そのために町独自の読書活動推進事業を令和5年度からスタートさせている。

⇒「情報と情報を重ねて考える」指導を強化する。複数の情報源から得た情報を比較・統合する活動：例えば、複数の文章や図、グラフなどから得た情報を比較し、共通点や相違点を見つかり、それらを組み合わせることで新しい結論を導き出すような活動を行う。

佐用町教育研究所 令和6年度 11月5日（火）号

研究所だより No. 60

キャリアステージ研修、第2弾！

【10月31日（木） 学力向上ディスカッション】

毎年、春に実施されている学力向上ディスカッションですが、その結果がうまく活用されているとは考えられません。長年のデータも活かされていくべきですが、ただひたすら行うのではなく、しっかりと考えることが大切です。今年度はスタートの研修や研修後のフォローアップを強化することにより、本館、児童生徒の学力向上に向けた取り組みを推進していきたいと考えています。

当日は、東京書籍の各冊子に掲載されている過去6年間（2019年～2024年、2025年は未実施）のデータと、教育委員会が実施した本年度の結果をもとに、参加者に自由にディスカッションしていただきました。

最終的な結果としては、ほとんどの冊子が読みこなすことができ、その中で最も多く読まれたのは「水の中で見た」という冊子でした。これは、児童生徒が「水の中で見た」という冊子に興味を持っていることが伺えます。

最終的な結果としては、ほとんどの冊子が読みこなすことができ、その中で最も多く読まれたのは「水の中で見た」という冊子でした。これは、児童生徒が「水の中で見た」という冊子に興味を持っていることが伺えます。

▲学校に配布されている研究所だより

「無解答率の改善と授業への手応え」

— キャラハン すずか

顕著な成果の一つは、児童生徒の無解答率の改善です。以前は学力調査の国語の作文問題で40%台だった無解答率が、20%台にまで減少しました。これは、ディスカッションを通じて「書くこと」への意識が教員間で高まり、それが実際の指導に反映された結果であると考えられます。教員が書く機会を意図的に作ることで、授業風景でも児童生徒が「よく書くようになった」と実感しています。佐用町では小中連携にも力を入れており、学力調査の結果は中学校のスタート直後に小学校でどのような授業をしているのかを把握する意味でも利用しています。学力の課題の共通理解を深め、小中学校間での連携した授業作りにも活かしていければと思います。

「教員間での情報共有の大切さをあらためて感じた」

— 竹田 兼基

書くことについては授業の中でも少しずつ手立てを入れているのを感じていますが、数学で今現在課題の一つとなっている、問題文の条件を正確に読み取り解答を導き出していくといった情報収集能力については、同じく意識を持って取り組むことで改善していくと考えています。以前は学力調査の結果について単に全国平均との比較や、大まかな課題の把握にしか使用できておらず、非常にもったいなく感じていました。町内では小規模校が多く、教員間での課題の情報共有が不足していたため、ディスカッションの内容をより深め教科ごとの研究会などを通じて、継続的な情報交換と授業改善を行っていければと思います。

「誤答分析は指導分析につながる」

— 古川 光弘

学力向上ディスカッションでは誤答例を引用して先生方に提示しました。先生方の間では「ああ、こういうところであまりよくないのか」という発見があるとともに、「つまづきを改善するにはどうしたらよいのか」という改善のための活発な意見交換がなされました。このことから改めて誤答からつまづきの原因を推測し、授業の中にどう活かしていくかという分析の大切さを感じることができました。この意識をさらに高めていきたいと考えています。特に標準学力調査ではマイアセスから誤答例も閲覧でき、具体的なつまづきから授業改善に活かすには有効であるため、各校でも積極的に活用してくださいと周知を図っています。

「佐用町独自の取り組みをさらに発信したい」

— 西川 典男

学力調査の分析と教育現場へのフィードバックの取り組みが常に課題でした。学力調査を導入後、10年以上経ちますが、いろいろな試行錯誤を重ねてきた結果、ようやく「学力向上ディスカッション」という現在の形になりました。今後も大学の先生方やアドバイザーの先生方の助言を受けながら、教員の授業改善意欲の向上や子どもたちの変容に繋がることを目指し、さらに学力調査の結果を活かす取り組みを深めて発信していければと考えています。



お申し込みから結果資料お届けまでの流れ

1

ご注文

調査開始日の10営業日前までに納品するよう、ご注文を完了させてください。

※実施部材の納品は、通常5～8営業日、自治体一括で10営業日ほどお時間をいただきますので、お早めのご注文をお願いします。

2

実施のてびき類の送付

調査に必要な実施部材が納品されます。

「total IDスタートガイド」「実施のてびき」などの実施部材をご確認ください。

3

total IDのご登録

マイアセスのご利用や、CBTの受験に必要なtotal IDをご登録いただきます。

4

調査の実施

「実施のてびき」「調査監督要領」をご確認のうえ、各種調査を実施してください。

※標準学力調査 CBTの実施の前には、ウォーミングアップ問題(p.9)を必ず実施してください。

5

調査の終了報告

「実施のてびき」をご確認のうえ、調査の終了報告をしてください。

6

結果資料の掲載

- 終了報告後、自動採点できる問題については、すぐに結果資料を掲載いたします。
- 手動採点が必要な問題については、採点終了後に、結果資料が更新されます。
- 「事後指導のてびき」をご確認ください。

● **実施時期** 1学期実施版 ▶ 4月～6月末／3学期実施版 ▶ 12月～2月末● **出題範囲** 1学期実施版 ▶ 前学年の学習内容(中学校1年生は小学校内容となります)
3学期実施版 ▶ 当該学年11月末までの学習内容● **解答時間** 小学校:40分間／中学校:45分間

※学力調査の実施にあたり、音声再生用のヘッドホン(またはイヤホン)が必要です。各学校で用意いただくか、オプション品(1個77円(本体70円))をご注文ください。

※解答にはキーボード操作が含まれます。

※長文を入力させる問題は、3学期実施版 小学校4年生以降の出題となります。

● **結果資料について**

結果資料は「マイアセス」でのご提供となります。データの加工などに適したExcelファイルもダウンロードいただけます(詳細はp.18)。

● **復習教材について**・フォローアップシート・たしかめドリル(無償) … PDF形式のドリルです。
マイアセスの「ふくしゅうサポート」からご利用できます。

・デジタルフォローアップドリル(無償) … 児童生徒の端末から、マイアセスの「ふくしゅうサポート」経由でご利用できるデジタルドリルです。CBTの結果に応じて、一人ひとりの課題に合わせた問題を自動で提案します。

・タブドリLive!(有償) … 児童生徒が学習意欲を維持しながら、サービスを利用するすべての仲間とともに、楽しく学べる新しいデジタル教材です。

ご利用条件

●ご利用には、東京書籍のアカウントシステム「total ID」への登録(無料)が必要です。また、設定をすることで、GoogleアカウントやMicrosoftアカウントなどを利用したシングルサインオンが可能です。

●ご利用いただく際の通信費は、自己負担になります。

●「ふくしゅうサポート」の「タブドリLive!」を利用するためには、別途タブドリLive!のご注文が必要です。

●標準学力調査 CBT・i-check CBTでは、管理者・受検者の個人情報保護に細心の注意を払い、万全の管理体制をとっております。調査で取得した個人情報、は本サービスの目的以外に使用しません。ただし、匿名加工情報として研究・分析等に活用させていただくことがあります。

動作環境

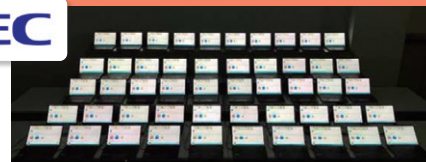
	Chromebook	iPad	Windows
OS	ChromeOS	iPadOS 17.4以降	Windows 11
ブラウザ	Google Chrome (123以降)	Safari (17.4以降)	Google Chrome (123以降) Microsoft Edge
通信環境	●各ブラウザはリリースされている最新版でご使用ください。 ●画面サイズは1280px以上を推奨します。 実施の際は、同時利用を考慮して1台あたり2.0Mbps程度の通信速度を確保できる、速度の安定した環境でご利用ください。		

参考：NECと共同で動作検証済み

●実際にCBTが問題なく動作するか、日本電気株式会社(NEC)と共同で多端末での動作検証を行っています。NEC社の無線アクセスポイント「QX-Wシリーズ」に、50台同時接続しても問題なく動作することを確認しています。

大量受検にも
対応可能!

NEC



多端末接続時のCBT動作検証の様子



お申し込みから結果資料お届けまでの流れ

- ご注文**
 調査実施日までに実施部材の確認が済むよう、ご注文を完了させてください。
※実施部材の納品は、通常5～8営業日、自治体一括で10営業日ほどお時間をいただきますので、お早めのご注文をお願いします。
- 問題用紙・実施の手びき類の送付**
 調査に必要な実施部材が納品されます。
 送付物の内容・数量等の詳細をご確認ください。
- 調査の実施**
 「実施の手びき」をご確認のうえ、各種調査を実施してください。
- 解答用紙の返送**
 「実施の手びき」をご確認のうえ、解答用紙をご返送ください。
- 結果資料の送付**
 - 1学期実施版が6月初旬以降順次、3学期実施版が1月中旬以降順次となります。
 - 段階評価方式の結果資料の発送時期は、目標準拠評価方式とは異なります。
 - 個人票等には、児童生徒が書いた名前が掲載されます。プライバシーに配慮し、個人名を記載しない方法も可能です。
 - 学校のご都合で、個人用または学校用データを再発行する場合は、別途有償となります。

- 実施時期** 1学期実施版 ▶ 4月～6月末 / 3学期実施版 ▶ 12月～2月末
- 出題範囲** 1学期実施版 ▶ 前学年の学習内容(中学校1年生は小学校内容となります)
3学期実施版 ▶ 当該学年11月末までの学習内容
- 解答時間** 小学校:40分間 / 中学校:45分間
※国語・英語の実施にあたり、CDの再生機器が必要です。各学校でご用意ください。
- 評価方式** 「目標準拠評価方式」または「段階評価方式」
- 結果資料について** 結果資料は、以下の3パターンからお選びいただけます。
 なお、いずれの場合も、個人票は紙でのご提供となります。
 - ①紙帳票のみ
 - ②データ(CD)のみ
※紙帳票には含まれていないSP表など追加の帳票データも提供します。
 - ③紙帳票+データ(CD)
※追加料金(1枚あたり税込1,100円)がかかります。

【マイアセスでの結果閲覧について】

上記の資料に加え、「マイアセス」でも結果をご覧いただけます。
※ご利用には「マイアセスあり」でのご注文が必要です。
 ※マイアセスの「マイカルテ」「子どもカルテ」で児童生徒の結果を閲覧する場合は、total IDに登録の上、情報の紐づけが必要です。詳細は本冊子のp.17をご覧ください。

【クラス分けカードについて】

3学期実施版の結果資料には、翌年度の学級編成にご活用いただける資料を同梱いたします。

●復習教材について

- ・フォローアップシート・たしかめドリル(無償) … PDF形式のドリルです。
個人票の二次元コードや、マイアセスの「ふくしゅうサポート」からもご利用できます。
- ・デジタルフォローアップドリル(無償) … 児童生徒の端末から、マイアセスの「ふくしゅうサポート」経由でご利用できるデジタルドリルです。
- ・タブドリLive!(有償) … 児童生徒が学習意欲を維持しながら、サービスを利用するすべての仲間とともに、楽しく学べる新しいデジタル教材です。

●「生活行動・学習活動調査」「生活・学習意識調査」について

- 「日常生活における行動・意識」を把握するための質問紙調査です。標準学力調査と併用することで、学力を支える基本的な学習・生活習慣の定着を確認できます。
※質問紙調査単体でのお申込みは受け付けておりません。
 ※標準学力調査で「段階評価方式」をご選択の場合は、ご利用いただけません。

●調査問題の利用にあたって

- ・問題用紙は回収しません。ただし、調査の公平性を保つため、児童生徒への返却は以下の時期まで控え、校内で保管してください。
 [返却控え期間] 1学期実施版:6月末まで / 3学期実施版:2月末まで
- ・3学期実施版 小学校1年生および1学期実施版 小学校2年生では、採点済みの問題用紙はご返却いたしません。あらかじめご了承ください。

お願い

実施の直前に過去の問題及び事後復習教材で事前練習を行うと、児童生徒の学力を正しく測定することが困難となります。
 児童生徒の学力を正しく測るため、「事前練習」はお控えください。
 また弊社学力調査の問題をコピーして児童生徒に実施させたり、生成AI(人工知能)等の学習データとしての利用、およびAIツールへの入力・読み込みなど、調査問題を二次利用することは著作権の侵害にあたります。

情報セキュリティマネジメント

ISMS認証基準の国際規格「ISO27001」およびISMSクラウドセキュリティ認証「ISO27017」を取得し、安心・安全にご利用いただけるよう取り組んでいます。



IC23J0562 / ISO/IEC 27001
※東京書籍株式会社 教育DX事業関連部門
 株式会社 学習調査エデュフロンテで取得



SC24J0029 / ISO/IEC 27017
※total ID、マイアセス、タブドリLive!、みんなにもっとNIMOT!、iFuture、コグトレオンラインの提供に係るもの

ラインナップ・価格



	標準学力調査 CBT										i-check CBT
	1学期実施版					3学期実施版					
	国語	社会	算・数	理科	英語	国語	社会	算・数	理科	英語	
小1											◎
小2											◎
小3	◎		◎			◎	◎	◎	◎		◎
小4	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎
小5	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎
小6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中3	◎	◎	◎	◎	◎						◎
価格	各学年1教科：380円（本体 345円）										400円 （本体 364円）

オプション

- ・分析レポート(考察資料)・・・結果を分析し、課題のある問題と指導のポイントなどをまとめた資料です。
1学年1教科5,500円(本体5,000円)となります。
- ・イヤホン・・・テストの邪魔にならないL字型端子です。小型のイヤピースを採用し、かぶれにくいABS樹脂で安心してご利用いただけます。**1個77円(本体70円)**となります。



	標準学力調査										質問紙調査		
	1学期実施版					3学期実施版					i-check	生活行動・ 学習活動 調査	生活・学習 意識調査
	国語	社会	算・数	理科	英語	国語	社会	算・数	理科	英語			
小1						◎◆		◎◆			◎		
小2	◎◆		◎◆			◎		◎			◎		◎
小3	◎		◎			◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小4	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎
小5	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
小6	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
中3	◎	◎	◎	◎	◎	◎※	◎※	◎※	◎※	◎※	◎	◎	◎
価格	各学年1教科：420円（本体 382円）										440円 （本体 400円）	352円 （本体 320円）	195円 （本体 177円）

◆小学校1年生の3学期実施版と小学校2年生の1学期実施版は、解答用紙が問題と一体型となっています。 ※3学期実施版の中学校3年生の調査問題は原則無改訂となります。

オプション

- ・個人経年比較資料・・・**1人あたり 53円(本体48円)**となります。
※「標準スコア」、「自己内評価」、「ステップ(段階評価)」の3種類があり、いずれか1つを選択することができます。
※通常の結果資料作成に加えて5営業日いただきます。
- ・分析レポート(考察資料)は、**1学年1教科 5,500円(本体5,000円)**となります。
※分析レポートを希望の場合は「マイアセスあり」でご注文ください。



商品についてのお問い合わせは全国の支社・出張所までお願いします。

支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467
金沢 076-222-7581 名古屋 052-950-2260 関西・四国 06-6397-1350
広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213-1770
沖縄 098-834-8084



東京書籍サポートダイヤル

0120-29-3363

受付時間

月～金 9:00～17:30(※土・日・祝日を除く)
※年末年始および当社の定めた休日も休業いたします。

お問い合わせURL

<https://www.tokyo-shoseki.co.jp/customer/>

Copyright © 2026 by TOKYO SHOSEKI CO., LTD. All rights reserved.

※本サービスで記入された解答情報、並びに、東京書籍のアカウントサービス [total ID]に登録された個人情報、本サービスの目的以外には使用しません。ただし、匿名加工情報として研究・分析等に活用させていただくことがあります。
※本パンフレットに記載されている内容及び製品の仕様は予告なく変更する場合があります。 ※本パンフレットは、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

・Google Chrome、Chrome OS、Google フォームはGoogle LLC の商標です。Apple、iPadOS、Safariは、Apple Inc.の商標です。 ・「QX-Vシリーズ」は日本電気株式会社の商品名です。

・Microsoft、Windows、Microsoft Edgeは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。

A6694-6 2026.08